

海外生活 レポート 49



高森 敏さん(川崎市出身)
JICAシニア海外協力隊として、ニカラグア共和国首都マナグア市に赴任。
任期:2022年3月~2024年3月
24歳の時から合気道を始め、会社勤めをしながら現在まであきらめず継続しています。今では合気道が身体の一部であり、人生の中心でもあります。



ニカラグア日本友好公園で、朝稽古

ニカラグアは、中央アメリカの中部に位置する国で、北はエルサルバドルやホンジュラスと隣接し、南はコスタリカと国境を接し、西は太平洋、東はカリブ海に囲まれています。西部には、ニカラグア湖やマナグア湖があり、1300mから2100m級の火山性の山岳地帯が太平洋に沿って連なっています。山岳高地ではコーヒー、低地では、サトウキビ、トウモロコシ、たばこ、バナナなどが栽培されており、この太平洋側に人口が集中している農業国です。

現在まで、サンディニスタ民族解放戦線党を率いたダニエル・オルテガ大統領による独裁政治が約15年間続いています。2018年には、反政府軍による抗議デモが各地で広がり、280人以上の死傷者を出し、10万人以上が国外に追放されています。現在の政府は、コロナ禍、強盗・窃盗犯より政治犯に目を光らせているようです。

道場名は、「^{あい き そくせい かつ}合気即生活」です。



ニカラグア日本友好公園の正門前

ニカラグアからの要請は、武器技を含めた合気道の術の伝承と武士道精神の紹介です。朝稽古は、公園の空き地で木剣、杖を使った武器技、夜は道場内で体術や武器技との理合い(注1)を教えています。常時稽古に来る人は10人以下で、生徒集めに苦心しています。



公園内の空き地で朝稽古

武士道精神を私は以下の諺を用いて説明しています。一つ目は「腹が減っては、戦はできぬ。(しっかりと食を摂ること)」。二つ目は「勝つて兜の緒を締めよ(油断をするな、謙虚であれ)」。三つ目は「武士は食わねど高楊枝(品格、人間性を高めよ)」。一つ目はすぐに納得してくれますが、二つ目、三つ目を理解するのは難しいようです。理由として、一般的に経済基盤があまり確立していないことです。定職に就いている人は少なく、職があってもアウトソーシング会社(注2)で残業を強いられ、自分の時間が取れないそうです。

生徒数はなかなか増えませんが、参加者は真面目に熱心に稽古しています。稽古前の雑巾掛け、稽古の前後でお互いに座礼する作法など、少しずつ定着してきたことが嬉しいです。何より自分の好きな合気道を教えらる毎日が嬉しく、日本の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

(注1) 武器を使つての体捌きと武器を使わない体術の捌きとの関係性、理由づけ

(注2) ニカラグアでは、主にアメリカ本社との現地契約社員が、非正規のパートタイマーを働かせる現場を指す。

ニカラグアで合気道を教える



遠くマナグアの湖岸には遊園地が広がり、街道の両脇には生命の木(鉄製)が植えられている。



ニカラグア日本友好公園で、市民に国内事情を尋ねた。

ニカラグアは、中米の中でも貧しく、治安の悪い国とされていますが、2022年「世界幸福度ランキング」は45位で、日本(54位)より上位にあります。人々に聞いた国の好きなところは、まず自然環境です。数々の火山、湖、海岸、亜熱帯植物、野鳥など。次に、穏やかでフレンドリーな国民。三番目は美味しい食べ物。反対に嫌いなのは政府、教育、貧困などでした。

現在、この国の生活スタイルはアメリカそのもので、ショッピングモールにはアメリカのスーパーマーケットPlayless、Walmartなどがあり、いろいろな商品であふれています。一方で、住宅の屋根や門には防犯用の有刺鉄線が引かれ、窓にはガラスはなく、鉄格子がはめられ、壁はブロックやレンガ造り、リビングの床はコンクリートかタイル張り、大型テレビが置かれています。大家族で住んでいて母系家族が多いようです。職場でも女性の方が要職に就き、男性の地位は低いように思われます。

私の活動拠点は、マナグア市(首都)の中心部にあるニカラグア日本友好公園内の多目的ホールを借りて道場とし、



公園内の多目的ホール(道場)で夜稽古

INFORMATION

<p>ホンジュラス エルサルバドル ニカラグア共和国 マナグア コスタリカ</p>	<p>ニカラグア共和国 面積 130,370km² 人口 662万人 首都 マナグア 言語 スペイン語</p>
---	---